

新日本協議会田中塾会員に神奈川地本本部長が講話 海自の現状と今後

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎一陸尉）は、5月17日（土）、神奈川総合薬事保健センターで行われた新日本協議会田中塾会員60名に対して行われた、本部長講話を支援した。

「海自の現状と今後について」と題し、近年の海上防衛の実態、近隣諸国の動向、今後の自衛隊の体制などが語られた。講話終了後大変多くの質問があり、会員の防衛問題に対する関心の高さがうかがえた。会員からは「貴重な講話をありがとうございます。また、日本のために頑張ってください。」などの感謝の言葉が述べられていた。

横浜中央募集案内所は、「今後もより多くの方々に国防の重要性や自衛隊の必要性をPRしていきたい」としている。



高田本部長に質問する参加者

小田急相模原駅前市街地広報

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長大塚3陸尉）は、5月20日（火）小田急相模原駅北口屋外デッキで自衛隊広報キャンペーン（市街地広報）を実施した。

このキャンペーンは、就職活動を行う学生をターゲットに月一回、広報官と募集相談員が募集ちらしを配布する等、市民に自衛隊を理解してもらえるよう地道な活動を行っている。まずは、航空自衛隊の広報官が若者に声をかけ、陸・海の広報官がそれに続く。当日の相模大野駅北口屋外デッキは陸・海・空の制服を着用した自衛官が周囲の目を引いた。ある高齢者からは「孫がどうしても自衛隊に入りたいので、面倒見てくれませんか」と言う相談や、若い女性からは「予備自衛官のことで聞きたいのですが」などの問い合わせがあった。

相模原地域事務所は、「今後も地道な市街地広報を継続し、自衛隊をPRしていく」としている。



小田急相模原駅北口屋外デッキ